

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



第12回 男山地域まちづくり連携協定 年次報告会

令和8年2月5日

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山
を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト（文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業）開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結（無期限）⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月 - 令和7年2月 第11回年次報告会

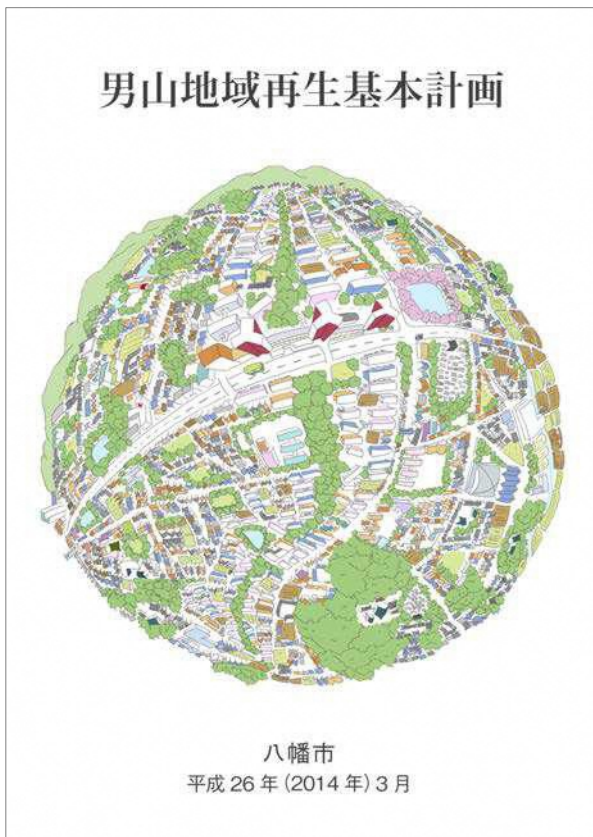
男山地域まちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



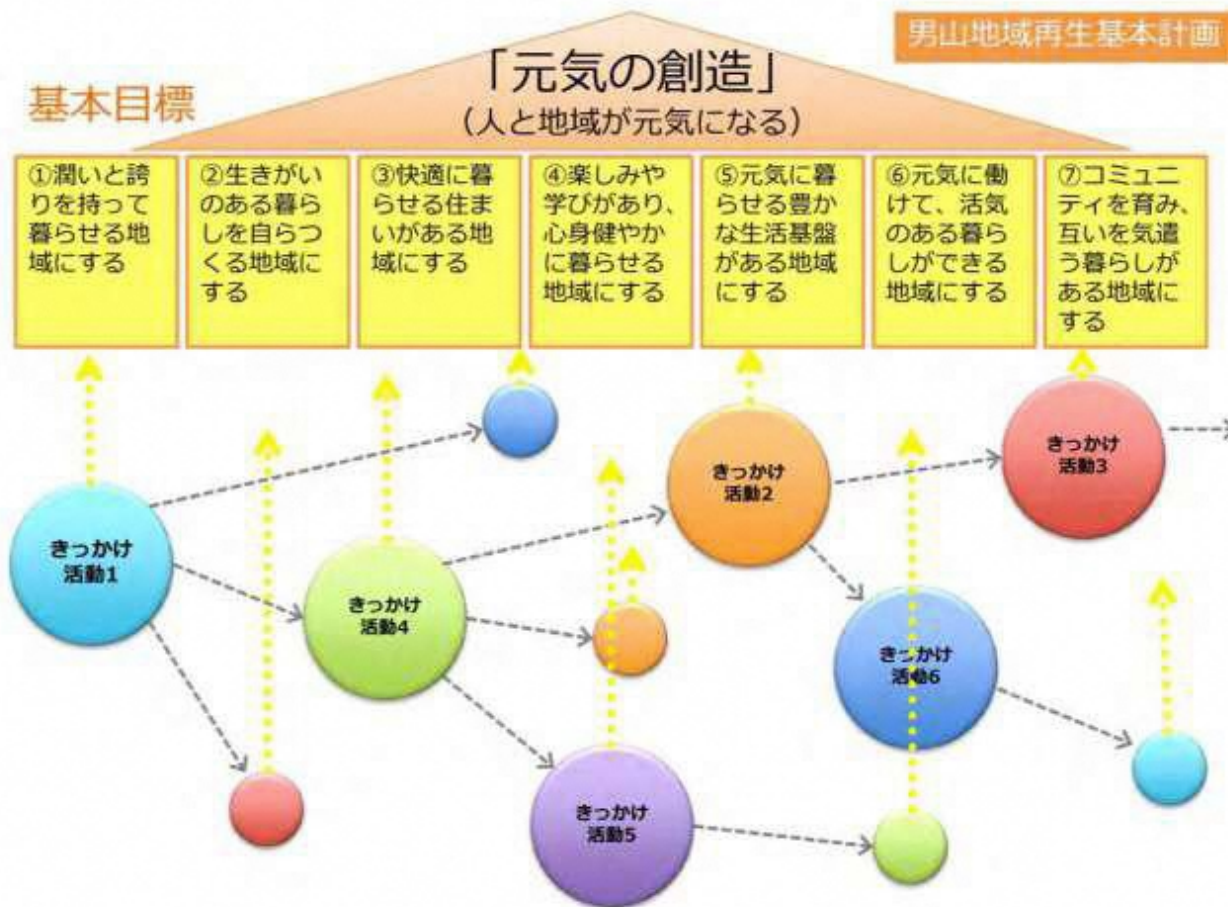
この計画は、地域の再生と発展を促すための重要な役割を果たす。住民の意見を反映し、地域の魅力を高めるための施策を立案している。また、地域の活性化を図るための様々な取り組みを紹介している。

「住みたい」から始まるストーリー！
地域の魅力を最大限に引き出すための施策を立案している。

地域の活性化を図るための様々な取り組みを紹介している。

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである
様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの運営

開設以来、必ず誰かが訪れる地域子育て施設

保育士やボランティアと一緒に楽しみながら子育てを楽しむ場所として運営しています。

感染予防対策をしっかりと、こどもやママにとってかけがえのない場所となるよう元気に活動中。

2018年京都府子育て支援
表彰受賞！

開設：平成26年12月1日～
場所：男山団地A地区集会所内
運営：おひさまテラスの会（地域ボランティア）
時間：月～金、土（不定期）午前10時～午後3時半
対象：0歳～就学前のこどもとその親

【利用親子数】

令和6年度：1, 910人

令和7年度：2, 417人 ※12月末時点

【お預かり数】

令和6年度：210人（利用時間530時間）

令和7年度：457人（利用時間1254時間）

※12月末時点



ダンチ de コソダテ の取組み

☆ママたちもリフレッシュ！

おひさまテラスでは子供たちだけでなく、ママさん向けのイベントも開催しております。写真はピラティス教室の風景です。ママたちにとっても癒しとなる集いの場になることを心掛けています。



☆外国人のお友達も増えています

おひさまテラスの様子を見て、「わー遊んでいい？」って遊びに来てくれました。日本語を教えたり、アラビア語を教えてもらったり…たくさんの国の方が来てくれています。



地域包括ケアの確立

- (2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において
平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

地域包括ケア複合施設 YMB T の役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



折り紙教室



実習生との交流

地域包括ケア複合施設 YMB T の役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

- ・多目的ホールの活用



毎朝のラジオ体操



出前講座、地域の催し等



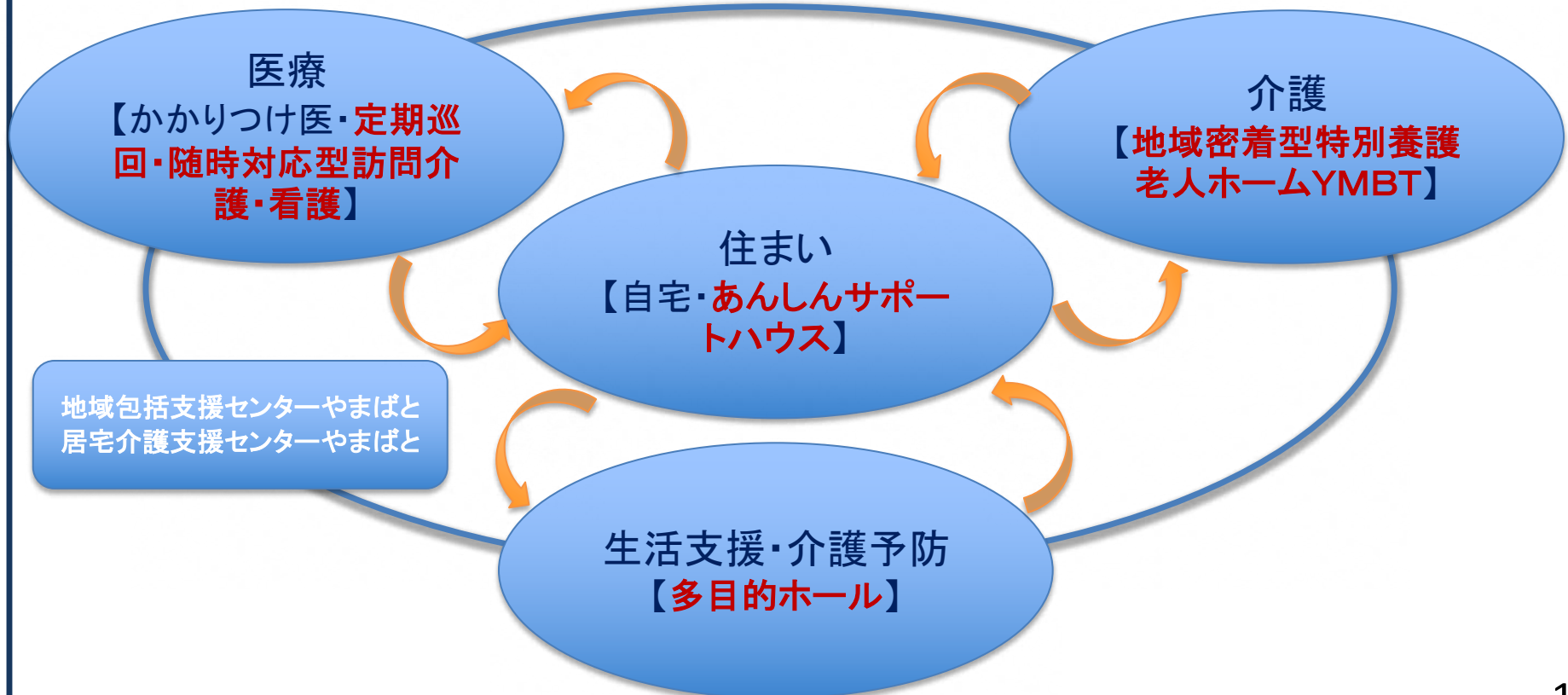
介護予防への取り組み

地域包括ケア複合施設 YMBT の役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア



地域医療福祉拠点化の取組み

URの地域医療福祉拠点化の取組みは、住環境の整備や、地方公共団体、医療・介護等を担う関係団体等との連携を図ることにより、暮らしやすい団地・地域の形成、団地で最後まで住み続けられる環境整備を目指すものです。拠点化の進め方に決まった形はありません。地方公共団体、自治会等の地域関係者と連携・協力しながら、地域の状況に応じて、様々な要素の中から必要なものを組み合わせて、住宅・施設・サービス等の整備を推進していきます。

男山団地では、連携協定に基づき様々な整備が進められている中、ここでは、「健康寿命サポート住宅の供給」「くらしつながるサポーター（旧生活支援アドバイザー）の配置」「実施したイベント」について紹介します。



地域医療福祉拠点化の取組み

1 健康寿命サポート住宅の供給

手すりや浴室暖房を設置する等、高齢者の方の住戸内の安全・安心に配慮した「健康寿命サポート住宅」への改修をすすめています。平成28年度からこれまでに170戸供給しております。(R7.12月末時点)



- ・人感センサー付照明
- ・手すりの設置 など



- ・またぎ高さを低く設定
- ・浴室暖房の設置 など



- ・段差の軽減
- ・多機能便座への変更 など

地域医療福祉拠点化の取組み

2 暮らしながらのサポーターの配置

高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、各種相談対応や電話によるあんしんコール、交流促進のためのイベント等を実施しています。



R7.6月実施 かななフラワー作り



暮らしながらのサポーター
(旧名称：生活支援アドバイザー)

- **相談窓口**

■ サービス内容

- ① URの高齢者向け制度に関する**ご相談**
- ② 福祉・介護・医療などの行政機関等のご案内
- ③ お電話による**見守り** (あんしんコール)

お気軽にご相談ください

ゆるやかに、暮らしながら。 UR 生活支援アドバイザー

- ① 窓口案内掲示文 ↑
- ② 名称変更周知チラシ →



生活支援アドバイザー通称 告知

生活支援アドバイザー 名称変更のお知らせ

UR賃貸住宅は団地誕生から70年を機に、「団地の未来」を見据えた新たな事業メッセージ「ゆるやかに、暮らしながら。」を発表しました。事業メッセージに併せて「生活支援アドバイザー」の名称も以下のとおり変更となります。

旧名称	生活支援アドバイザー
↓	
新名称	暮らしながらのサポーター

「くらサポさん」と呼んでください
令和7年10月1日から

※通称も10月から「くらサポ通称」として良くなります。
名称は変わっても、サービス内容は変わりません。
これからも皆さまの暮らしに役立つ情報をお届けしますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

男山団地 管理サービス事務局
暮らしながらのサポーター(旧名称:生活支援アドバイザー) やまもと
TEL:075-983-5522
(営業時間:9:30-17:00、水・日・祝祭日) UR Life Support

★周知案内の事例

地域医療福祉拠点化の取組み

3 京都弁護士会連携の終活講座

高齢者（特に男性）の外出機会創出を目的とした京都弁護士会による『終活講座』を開催。

八幡市防災アプリのPRを実施した他、八幡市から提供頂いたアルファ米、ティッシュを参加者にプレゼント。



講師役の弁護士の方々



40名以上の参加者



地域医療福祉拠点化の取組み

4 八幡市取り組みの団地内導入

外出の機会創出やフレイル予防として、団地内で八幡市の下記取り組みを実施。

- ・「いきいき健幸プロジェクト」⇒だんだんテラス内に機器
- ・「ご近所筋トレ」⇒集会所で実施予定（2/27～）

取組案①

男山団地×やわた未来いきいき健幸プロジェクト

参加者は専用の活動量計またはスマホアプリで日々の歩数を測定し、指定された方法で定期的に計測データの送信を行う



・専用の活動量計またはアプリで日々の歩数を計測
・定期的に体組成計で身体の変化をチェック

・活動量計の場合は、市内の公共施設等に設置する送信機(リーダーライター)またはLoppi端末にてデータを定期的に送信

・歩いた歩数や、データの送信行為、健診受診等に対してポイントを付与

8



読み込み機器 ↑

男山団地にお住いのみなさま UR URコミュニティ

ご近所筋トレ

楽しくフレイル予防!

共催：八幡市役所 健康推進課

先着20名 参加費 無料

椅子に座ってできる筋トレです♪
DVDを見ながら30分間ゴムバンドを使って身体を鍛えましょう♪

日時：令和8年2月27日(金) 13時30分～14時30分
場所：男山団地 中央集会所
対象：団地にお住いの65歳以上の方
持ち物：飲み物・タオル等

1週目 体力測定 → 2-4週目 市職員とDVD体操 → 5-11週目 自分たちでDVD体操 → 12週目 体力測定

サークル化目指して みんなで体力アップ!

大規模な天候や、感染症拡大の状況等により、イベントを急遽中止する場合がございます。また、当日参加できない方もお断りする場合がございますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】
男山団地管理サービス事務所
くらしつながるサポーター やまもと
電話 075-983-5522
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
月・火・木・金・土(祝日を除く)



20

京都未来人材育成プロジェクト事業

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

京都未来人材育成プロジェクト事業 による支援

● 趣旨

人口減少により地域や企業の担い手が不足する一方で、府内の大学生が京都の地域や企業を知らずに、卒業時に他府県へ流出しており、将来の京都を支える人材の育成・定着につなげるため、大学生が在学中に府内の地域や企業と交流し、理解を深める機会の拡大を、京都府と京都市が連携して実施

● 令和7年度 府内全体での取組

採択事業：20大学 55事業を採択・支援

● 関西大学×八幡市（男山地域）への支援

平成28年度から支援

※ 1まち1キャンパス事業（平成28年-令和元年度）／人・まち・キャンパス事業（令和2年-3年度）

きょうと府内定着等推進事業（令和4年度）／学生とともにのぼす京都プロジェクト共同事業（令和5年度）

大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト共同事業（令和6年度）

<支援内容>

大学・学生の活動環境面（/旅費/役務費/諸経費）をサポート

京都未来人材育成プロジェクト事業 による支援



男山地域再生基本計画のリーフレットの更新

地域住民に「住んでいるからこそ知っている男山の魅力的な場所」をヒアリング調査し、地域マップを作成。

また、地域活動への参加を促すため、まちづくり診断ツールを作成も作成。

だんだんテラスの取組み

- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス

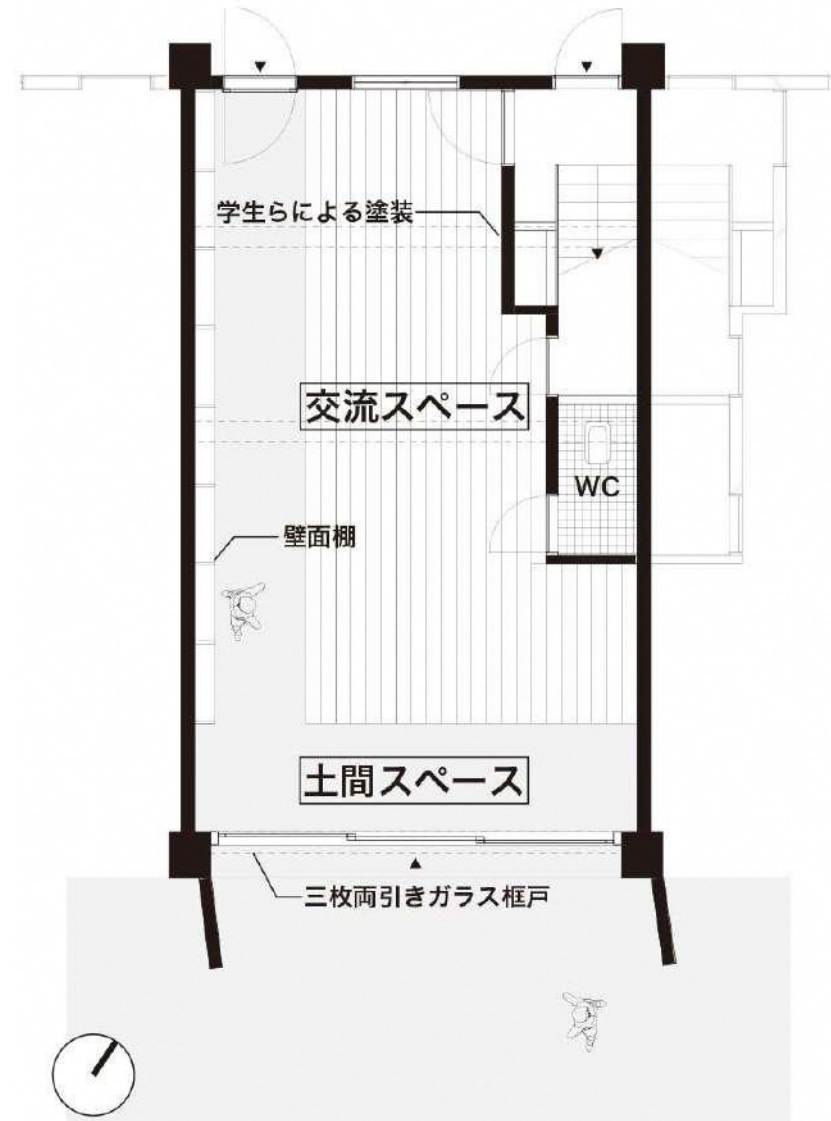


開設日：平成25年11月16日～

運営：だんだんテラスの会

主に大学院生が常駐

時間：年中無休（10時-18時）



住民と学生が協働で継続した運営をめざす

関わりつづけるをテーマとしたまちづくりの実践

だんだんテラス 平成25年開設



UR男山団地D地区集会所



2つの地域活動拠点を中心に実践的な活動を展開

H25～これまで、男山地域内で2つの活動拠点を中心に、地域住民と交流を図りながら、ソフト・ハードの両面から団地、地域再生の実践活動を展開。

交流・情報交換・活動の場

毎朝10時からのラジオ体操



だんだんカフェの会



だんだん朝市



だんだんテラスの日常



京都府立八幡支援学校との連携

だんだん朝市での販売お手伝い



ドリンクサービス・作業実演



だんだん手作り市にも出店



普通科3年生と連携した授業を実施

ドリンクサービス、作業実演に加えて、だんだん朝市での販売お手伝いを実施。今年度は生徒たちが制作した商品を、だんだん手作り市に出店。

D地区集会所の活用促進に向けた活動

ベリーダンス教室



お茶会



むかしの暮らし展



D地区集会所でイベントの実施

改修したD地区集会所を活用し、小さな子ども連れでも参加しやすいベリーダンス教室やお茶会を実施。

また、展覧会の開催にも活用し、使いながら使いやすい集会所のあり方を検討。

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに

関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場（だんだんテラス）

非日常の場（やってみよう）

2つのプラットフォーム

で住民活動を支援する。

地域で支え合う環境づくりに向けた活動

みんなの食堂



住民と一緒に準備



手作りワークショップ



みんなの食堂とよりそい食堂 の実施

男山中央センター商店街にある喫茶店「ピーパル」と、「ささえびと」が連携し、「みんなの食堂」と「よりそい食堂」を実施。

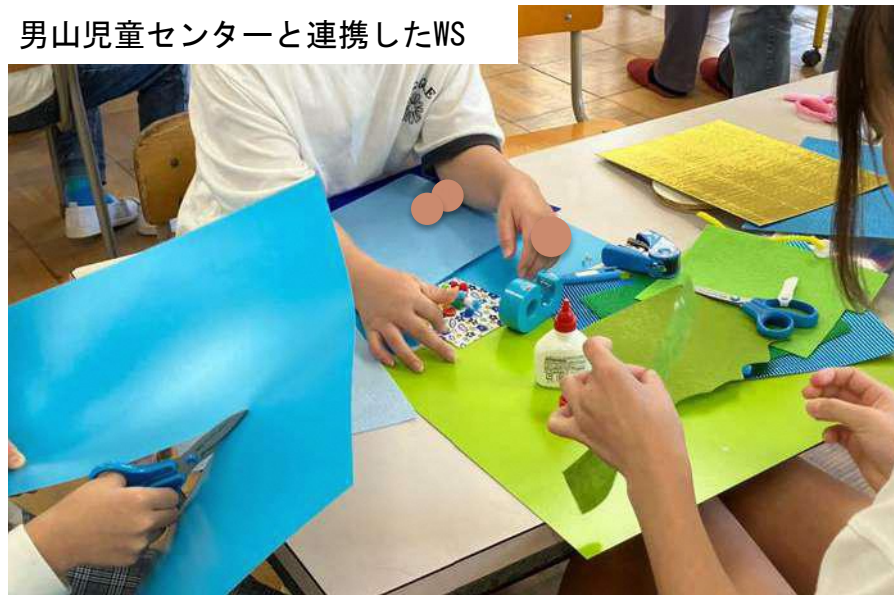
だんだん手作り市、手作りWSも同時開催。

NPO法人こどもアート企画mottoとの連携

身近な材料で弁当を制作するWS



男山児童センターと連携したWS



翌日はWSと展示会を実施



人との繋がりをテーマとした
アートワークショップを実施

アートによって人と人が繋がり、健康の維持へとつなげることを目的としたワークショップを実施。
制作した作品はだんだんテラスで展示会を開催。

学生主体の活動



アンケート集計結果		
	B地区	第三住宅
配布数	1593	379
回収数	297	74
30代以下	8	0
40代	17	1
50代	29	12
60代	48	19
70代	111	24
80代以上	77	15

緑道に対する意識調査を目的としたアンケートを実施

男山団地のB地区、第三住宅を対象に合計1972枚のアンケートを配布し、371枚の回答が得られた。

散歩、通過するのみの利用が多く、休憩場所が少ないという声が半数近くあった。

地域住民と四者連携協議会が協働した 取り組み

- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4)住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

緑道よりみちマルシェin男山の開催

男山団地の大きな特徴である団地内歩行者専用道（緑道）は、まちびらきから半世紀にわたり、豊かな地域環境の形成に寄与してきました。

緑道をはじめとした男山地域の豊かな環境を発展・継承させ、多様な主体が協働する地域再生のまちづくりを推進することで、地域のシビックプライドを育むことを目的とし、11月に緑道活用イベント「緑道よりみちマルシェin男山」を実施しました。

地域住民団体による出店をはじめ、キッチンカーや飲料のロボット自動配送実証実験、地域企業による運動教室など、様々な主体による催しが行われました。

よりみちからはじまるまちづくり

緑道
よりみち
マルシェ
in 男山
11/30 (日)
UR 男山団地 C・D 地区

緑道を歩いて景品とピンゴカードをGET！
緑道スタンプラリー
UR男山団地公道LINEアカウント「みんなの乗乗権」におもたち登録をして、スタンプラリーに参加しよう！チェックポイントを全てまわるとピンゴカード(券着)がもらえます！
QRコードからおもたち登録 >>>

地域の様々なイベントによりみち！
イベント盛り沢山の1日
イベント当日は、「緑道よりみちマルシェ」の他にも、市内各地で様々なイベントが開催されています！
思い思いに「よりみち」をしながら、地域の魅力を存分に体験しよう！
当日開催のイベントはこちら >>>

イベントのフィナーレはみんなでピンゴ！
みんなでピンゴ大会
イベントのフィナーレは「ピンゴ大会」を開催！緑道スタンプラリーや市内のイベントをたくさんやりみちしたら、みんなで大団圓に集合だ！
●15:00よりC地区お祭り広場にて

日時：2025年11月30日（日）10:00～16:00（雨天中止） 問合せ：八幡市市民協働推進課（電話）075-983-5749 もしくはだんだんテラスまで
主催：四者連携協議会（関西大学、UR都市機構、八幡市、京都府） 協力：アサヒ飲料株式会社、メカロスクズはモール、だんだんテラスの会

緑道よりみちマルシェin男山の開催

イベント当日は天候にも恵まれ、秋晴れの中、400人を超える方々にご来場いただきました。

アンケートでは「長年地域に住んでいるが、緑道を歩いたことがなかったので、こんなに綺麗とは知らなかった。」「子供たちも出てきていて、このようなイベントが定期的にあったら賑わって良い。」など、好評の声を頂戴しました。



だんだん手作り市



ロボットによる飲料配送実証実験

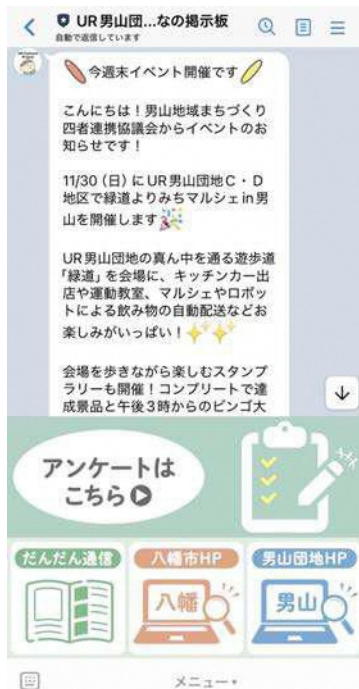


学生によるまちづくり情報発信ブース

UR男山団地公式LINEの導入

地域のイベント情報やコミュニティ活動を広くお知らせするために、UR男山団地公式LINE「UR男山団地のみんなの掲示板」を導入しました。

男山団地のみならず、男山地域全体の情報を発信して参ります。地域団体の皆様による活用や発信も検討しています。



LINE 公式アカウントができました！

男山団地でLINE 公式アカウントを始めました！
地域のイベント情報など、様々なお知らせをお届けします。

友達を登録していただくと、**最新情報**を逃さずにチェックできるのはもちろん、イベントやスタンプラリーなどの**楽しい企画**にもすぐ参加できます。

ぜひこの機会にご登録いただき、
男山での毎日をもっと便利に、もっと楽しくお過ごしください！

今後は**イベント情報**や**地域団体のご紹介**、
暮らしの役立ち情報などを発信予定です！



LINE 公式アカウント

UR 男山団地みんなの掲示板

友達募集中！



登録はコチラ！ ▶

インフラゼロハウス実証実験

男山団地に、株式会社MUJI HOUSEが開発したインフラゼロハウスを期間限定で設置し、防災情報の発信や地域交流の拠点として活用することとなりました。（設置期間 2/15～3/8）

インフラゼロハウスは、バイオトイレや太陽光発電、蓄電池等を実装し、既存のライフラインに依存せず生活することができるトレーラーハウスです。

設置期間中は見学（要予約）のほか、様々なイベントの開催を予定しております。防災や環境について、ゆるやかに考える機会となることを目指しています。



インフラゼロハウスが
やってくる！

男山
団地に

※他の団地の写真のため、
実際とは異なります。

2026 **2.15** (日) ▶▶▶ **3.8** (日)

開館時間 10:00～12:00 / 13:00～16:30 ※オープン日(2/15)は
12:30～開場です。

場 所 UR男山団地 B44号棟南側広場

内覧・利用 完全予約制

内覧・利用可能時期等が変更になる場合がございます。
必ずこちらからご確認ください。

※希望日時、予約者名、利用目的、利用人数を明記のうえ、前々日の
昼12時までにメール(dandan_terrace@gmail.com)でご連絡いただく
か、だんだんテラスまで直接お問い合わせください。



Check here for
English version

Vui lòng xem từ
rời tiếng Việt tại
đây

インフラゼロハウスの
イベントカレンダー。
予約状況などはこちら

オープニング
イベント **2.15** (日)
12:30～15:00

防災・多文化共生イベント
～防災をきっかけに共助の団地へ～



参加
無料

料理のふるまいイベント
ベトナム料理、豚汁、防災
食品(アルファ米、保存水)
をふるまいます！

【限定100食・無料】

防災体験

アウトドアテントの
設置、防災工作など
の体験ができます。



※参加費・駐車場はございません。
※設置場所は集合体宅内となりますので、ご来場・ご利用の際は
マナーを守り、近隣住民への配慮をお願いします。
※天候によっては、イベントの内容が変更・中止となる場合が
ございます。

**2.15(日)の午前10～12時には、隣接する男山第二中学校他で地区自治連合会が防災訓練を開催！
みなさまお揃いでぜひお越しください！**

主催 株式会社 MUJI HOUSE 協力 四者連携協議会(八幡市/関西大学/UR都市機構/京都市)/だんだんテラスの会/社会福祉法人チームYMBT
■イベントに関するお問い合わせ ■ UR都市機構 京京エリア経営部 (TEL: 075-253-6400) ※10:00～17:00(土日祝)

家庭系粗大ゴミ回収支援社会実験の取り組み

令和6年度の取組の様子



だんだん手作りWSの様子



「不用品の循環」をテーマとした社会実験の企画

3/8（日）に、インフラゼロハウスのクロージングセレモニーとして、「不用品の循環」をテーマとしたイベントをだんだんテラスの会主催で企画。セレモニーのコンテンツの一つとして、B地区南側エリアを対象に、家庭系粗大ゴミの回収支援実験をB地区自治会と連携して実施予定。だんだん手作り市、手作りWSも同時開催予定。

外国人住民との共生について

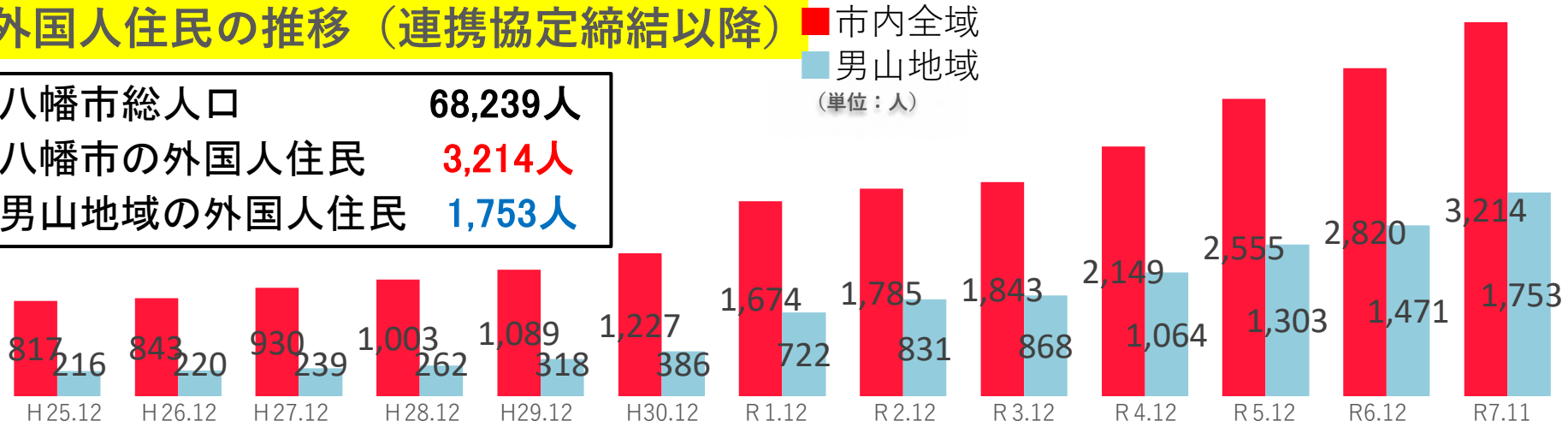
(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立



八幡市における外国人住民の現状

外国人住民の推移（連携協定締結以降）

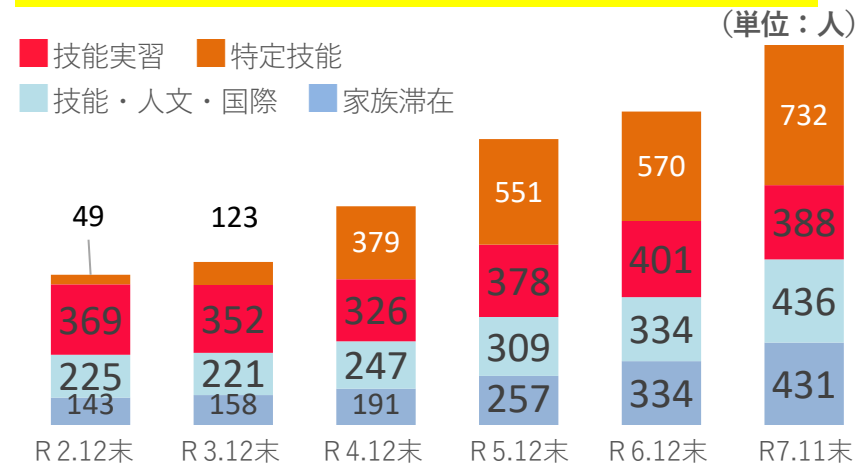
八幡市総人口 **68,239人**
 八幡市の外国人住民 **3,214人**
 男山地域の外国人住民 **1,753人**



外国人住民の国籍別人数(令和7年11月末)

市内全域 (単位：人)		男山地域 (単位：人)	
国籍	人数	国籍	人数
1. ベトナム	1,262	1. ベトナム	1,010
2. 中国	335	2. インドネシア	235
3. インドネシア	317	3. スリランカ	80
4. スリランカ	253	4. 中国	67
5. 韓国	224	5. 韓国	64
総数	3,214	総数	1,753

外国人住民の在留資格別の推移



- ・ 市内企業の特定技能等の受入れ等により、外国人人口が年々増加（総人口の約4.7%）。
- ・ 令和4年度以降、特定技能での在留者数が最多。
- ・ 母国で日本語教育を受けていないと予想される家族滞在の外国人住民が急増。

ベトナム人職員の採用

八幡市に住む外国人住民への制度周知やベトナム語での通訳を目的に、ベトナム人職員を採用。

(令和5年度より)

<勤務日時>

・火曜日～木曜日 9:30～16:00

<勤務内容>

- ・ベトナム語の通訳や翻訳
- ・多文化共生イベント等への参加
- ・ベトナムの文化の紹介 など



八幡市社会福祉協議会主催「ちょぼら学校」に協力



ベトナムについて紹介するコラム
多文化共生について考える -DUYÊN ご縁-
日本語文 Văn bản tiếng Nhật
 私はユエンと申します。令和5年度から市の多文化共生科に就任し、外国人への制度周知や外国人との通訳を行う職員として市に勤務しています。ベトナムのダナン市出身で、現在は母国に住んでいます。
 出身地ベトナム・ダナン市は港町です。ベトナムの中部の経済中心で、観光地としても有名です。多くの外国人と交流してきた私は、茶道や舞踊などの日本文化の魅力にひかれて、高校卒業後に留学先をもらって、日本へ留学しました。
 日本で、日本語学校と、大学を卒業しました。学生時代に14のボランティア活動や交流会などにも参加しました。日本の文化についていろいろと体験できました。
 令和7年から八幡市で生活を始めました。異文化が面白い、子育て支援センターや子ども公園で遊んでいる時に知り合った日本人のお母さんに、子育て支援センターや子ども公園を訪ねてもらって、そこで、出会った職員も熱心で働いて、市役所で働きたいと思うきっかけになりました。結果として、八幡市の人はみんな優しくして親切です。またが楽しくて、タリノゴがおいしいところも好きです。
 私の名前の「ユエン -DUYÊN」は、日本語で「ご縁」という意味です。だから、これから、外国人と利用できるもの、通訳の役割、さまざまな人が抱えている文化を理解できるように努めます。そして、多文化共生を、一人一人をつなぐ架け橋になりたいです。
ベトナム語文 Văn bản tiếng Việt
 Góc chào về "Chang sống dân hội"
 Xin chào mọi người!
 Mình tên là Duyên, đến từ Đà Nẵng, Việt Nam. Hiện tại, đang sinh sống tại Okazakiya Danchi, Minh làm việc tại Cơ quan hành chính Thành phố Yamato từ năm 2023. Công việc của mình đa dạng như: biên phiên dịch các tài liệu và chế độ cho người nước ngoài, hỗ trợ và hỗ trợ các hoạt động, và sự kiện trong thành phố.
 Đa năng quê mình được biết đến là Thành phố cảng và là thành phố trung tâm nhiều chợ nhiều chợ được giao lưu và trở thành nơi nhiều văn hóa quốc tế. Trong đó, mình thích nhất là trà đạo, và nhảy truyền thống của Nhật, nên đi có gắng tại đây học, bằng để Du lịch tại Nhật.
 Trong quá trình còn là sinh viên trường tổng và trường đại học tại Nhật, thông qua các hoạt động giao lưu và tình nguyện mình tiếp tục được trải nghiệm thêm rất nhiều về văn hóa của Nhật Bản.
 Năm 2020 - vào thời điểm dịch Corona, mình đã bắt đầu an cư khi chuyển từ Tokyo về đây sống. Nhưng nhớ sự giới thiệu của 1 người mẹ người nhật mình quen được khi đến con đi dạo công viên, mình đã bắt đầu đến Trung tâm hỗ trợ chăm sóc trẻ em Aiai. Tại đây mình gặp được những nhân viên rất thân thiện và nhiệt tình, và đây là động lực giúp mình xin vào làm tại Cơ quan hành chính Thành phố Yamato. Sau vài tháng rồi mình tăng sống như Shizuoka, Tokyo hay Saitama, thì với mình, Yamato cũng có những nét đẹp riêng, và người dân cũng rất thân thiện.
 Tên của mình là Duyên, tiếng Việt nghĩa là " ...縁 -gô縁..." . Kính hy vọng sẽ có nhiều cơ hội gặp gỡ, để trở thành cầu nối văn hóa, cuộc sống giữa các bạn nước ngoài và Nhật Bản.

だんだん通信にてベトナムについて紹介するコラムを寄稿



八幡市開催のイベントの周知

地域日本語教育の推進等に関するネットワーク会議の開催

- ・外国人住民との共生社会の実現に向け、日本語教育や地域との交流などに関する意見交換等を行うとともに、構成員間における情報共有や交流、相互協力関係の構築を図るため、令和6年度より開催。

<実施日>

令和7年8月28日、令和8年2月18日

<連携体制>

男山団地A地区・B地区・八望自治会、にほんご教室世界はテマン、株式会社武蔵野、株式会社鶴見製作所、カツシロマテックス株式会社、公益財団法人国際労務管理財団、男山地域コーディネーター、UR都市機構、城陽市国際交流協会、京都府国際センター、京都府国際課、京都府警、八幡市社会福祉協議会、八幡市



外国人従業員に関するアンケート調査の結果

概要

特定技能基準省令の一部が改正（施行日：令和7年4月1日）されたことに伴い、特定技能所屬機関は地方公共団体から、共生社会の実現のために実施する施策に対する協力を要請された時は、必要な協力をすることが規定されました。

特定技能外国人が活動する事業所の所在地及び居住地が属する地方公共団体から共生施策に対する協力を求められた場合には、必要な協力をする旨の「協力確認書」を提出する必要があります。

本件は本市に協力確認書を提出いただいた事業者に向けて、八幡市で外国人従業員を受け入れておられる事業者様の現状を把握したく、本アンケート調査を実施したものです。

実施期間	令和7年8月1日～8月22日
協力依頼事業所数	58事業所
回答数	25事業所
回答率	43%
質問数	18問（事業所、連絡先等除く）

関西大学外国語学部高橋秀彰ゼミとの取組

- ・多文化共生に向け、双方の言語・文化の理解を深めることを目的としたイベントを実施。
- ・令和7年度は、前年度に実施した、石清水八幡宮やその周辺を巡りながら、英語で謎解きに挑戦するイベントのリーフレットを作成したほか、ベトナム料理を切り口とした交流イベントを男山団地D地区集会所にて開催。

リーフレットの作成

- ・昨年度開催した「英会話×謎解き八幡に眠る謎」で使用した謎解きゲームのリーフレットを基に作成。



Món ngon ! おいしいベトナム料理を作ろう！

- ・令和7年12月13日開催
- ・外国語学部の学生がベトナムの言語や文化を紹介。
- ・ベトナム人職員や住民と一緒にベトナム料理を調理。
- ・当日は16名が参加し、ベトナム料理を通じて交流。



日本語指導ボランティア養成講座の開催

- ・外国人住民が地域で安心して日常生活を送るためには、外国人住民の日本語学習機会を確保することが重要。
- ・地域ボランティアによる「地域にほんご教室」での活動をより充実したものとするため、令和3年度はボランティア養成講座、令和4～6年度は支援者のスキルアップ講座を開催。今年度は3年度と同様にボランティア養成講座を開催。

<日 時> ①令和7年8月3日、②8月9日、③8月23日、④8月30日

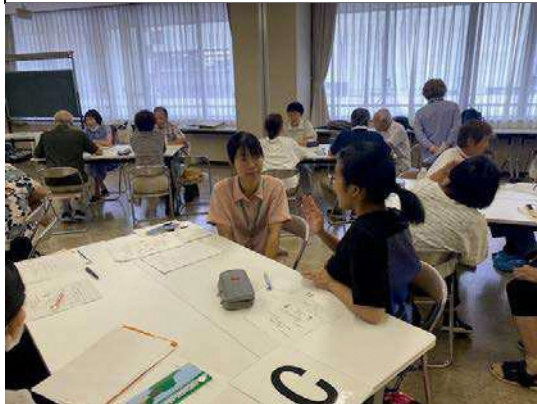
<場 所> 八幡市民文化センター

<講 師> 京都にほんごRings

<内 容> やさしい日本語について、品詞(動詞・形容詞)の教え方
ボランティアの心構え等

<受講者> ①22名、②17名、③18名、④17名

<体 制> 地域にほんご教室、京都にほんごRings、京都府国際課、
京都府国際センター



地域住民との交流イベント

・昨年度に引き続き、相互理解の促進を図るため、日本人住民及び外国人住民の双方が親しみやすい「写真」「スポーツ」「食」を切り口とした交流イベントを実施。

やわたわーど写真展

テーマ	伝統行事
日時	令和7年10月25日
場所	八幡市民文化祭（市役所1階）
応募数	71作品（日本人51作品、外国人20作品）
来場者	430名

やわたすぽーつまるしえ

日時	令和7年11月15日	摂南大学と協働
場所	くすのき近隣公園	
参加者数	85人（日本人53人、外国人32人）	
すぽーつ	玉入れ、綱引き、サッカーリレー等	
外国料理	ベトナム料理店、インド・ネパール料理店 洋風惣菜店、和菓子店	

当日の様子



↑金賞作品

銀賞作品→



摂南大学との取組について

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

摂南大学と八幡市が包括連携協定を締結

令和5年3月31日に包括連携協定を締結

連携・協力事項

- ・ 農業振興及び食、健康・医療などに係る地域産業振興・新産業創出
- ・ 地域の政策課題に係る共同研究の推進
- ・ 大学教育及び地域教育の向上
- ・ 生涯学習の推進
- ・ 人材の育成・交流
- ・ 地域の活性化に係る各種活動への教職員、学生の参画促進
- ・ その他、目的を達成するために必要と認める事項



フィールド型アクティブ・ラーニング（FAL）

FALとは

摂南大学現代社会学部による、企業や自治体などと共有された目標の達成に向け協働する実践志向のプログラム。**男山地域**では下記のテーマで昨年度から取組を進めている。

テーマ

アフターコロナ時代の自治会活動継続のために

担当教員

現代社会学部 小池高史先生 藤井和佐先生

八幡市の課題

- ・ コミュニティの希薄化
- ・ 外国人住民の急増等



課題解決に向けて

摂南大学現代社会学部
と協働

男山団地B地区自治会 団地祭り(夏祭り)

- ・ 男山団地B地区自治会の団地祭り（夏祭り）に、
摂南大学現代社会学部の学生15名が参加。

開催日：令和7年8月23日（土）

場所：男山団地B地区集会所
集会所よこの広場

連携：男山団地B地区自治会
摂南大学 現代社会学部
八幡市

- 今年度は、昨年度の活動で見た課題の解決に向け活動。
- 当日は会場の準備や運営サポート、翌日は片付けを実施。
- 11月に開催する「やわたすぽ一つまるしえ」を周知。



昨年度に引き運営サポート



屋台を通じて住民と交流



外国人住民の方も参加

やわたすぽーつまるしえ

・スポーツ、食がテーマの多文化共生イベントを協働して開催。摂南大学現代社会学部の学生15名が参加。

- 昨年度のFALを実施して見えてきた日本人住民と外国人住民が交流できていないという課題解決のため、相互理解を深めるイベントを協働して開催。

開催日：令和7年11月15日（土）

場 所：くすのき近隣公園

連 携：摂南大学 現代社会学部
八幡市 市民協働推進課

- イベントの企画から準備、運営まで協働して取り組む。

- 当日は85名の方が参加し、チームに分かれて4競技を楽しむ。



子どもから大人まで参加



チーム対抗戦で大盛り上がり



国籍や年齢を超えて交流

男山地域の情報発信

■ **だんだんテラス** facebook **おひさまテラス** facebook

■ **八幡市役所**

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ **UR男山団地（特設サイト）**

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

■ **UR男山団地（住宅情報）**

https://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai/kyoto/80_1840.html

■ **関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)**

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>